

広報

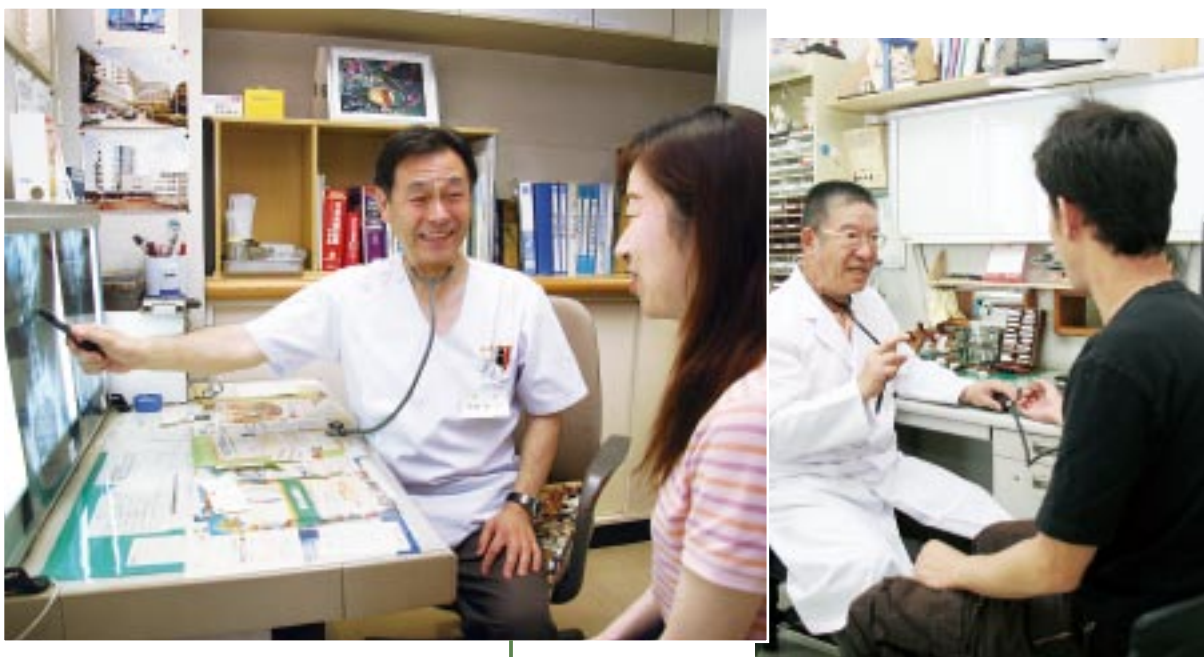
# えびな 6/1 日号

世帯と人口(5月1日現在) 世帯 48,463 人口125,289人 男63,690人 女61,599人

編集・発行 海老名市役所 市長室  
〒243-0492 神奈川県海老名市勝瀬175番地の1  
☎046(231)2111(代) ☎046(233)9118  
URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

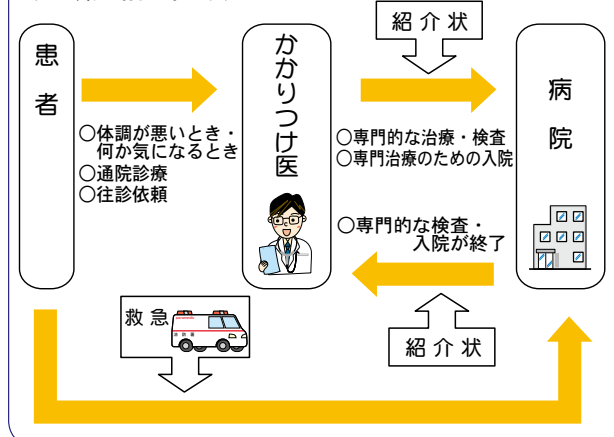
「広報えびな」は、市シルバー人材センターの会員が各家庭へ直接配布しています。お手元に届かない場合はご連絡ください。  
問 同センター (☎237・3001)

## 信頼できる地域のかかりつけ医を



最近、「かかりつけ医を持ちましょう」というメッセージを目にすることが多くなりました。今回は、日ごろの健康管理面からだけでなく、医療体制整備の面からも必要とされる、かかりつけ医についてお知らせします。

### 〔地域完結型医療〕



### 各種情報を積極的に提供します

海老名市医師会・かかりつけ医定着推進委員会

田中昭太郎委員長



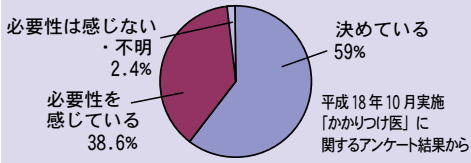
私たちは、かかりつけ医・病院・専門医その他各機関が連携しながら個々の患者さんと向き合い、診療を進めていくシステムの確立を目指しています。そのためには、多くの方が、身近に、かかりつけ医を持っていただくことが必要です。

また来年度から、40歳から74歳の全国民を対象に始まる「特定健康診査」(生活習慣病予防と医療費抑制を目指して、健康保険組合・国民健康保険などすべての保険者が実施)も、かかりつけ医で受診すれば、よりの確かな健康へのアドバイスを受けることができます。

昨年10月のアンケートでは、市内の35歳以上で、かかりつけ医のいる人・必要性を感じている人は、ほぼ100%ですが、実際に決めているのは、60%にとどまっています(下グラフ)。

医師会では、今後も、みなさんが、気軽に相談できるかかりつけ医を持っていただけるように、各種の情報を積極的に提供していきます。

### かかりつけ医を決めていますか



地元のかかりつけ医としても活躍中の、腎健クリニック(中央一丁目)・高橋裕一郎院長(写真左)と葉梨整形外科(柏ヶ谷)・葉梨之紀院長(同右)。両院長とも、一般の健康相談に乗ることも多いといえます



じっくり診察・相談  
じっくり診察・相談  
じっくり診察・相談

かかりつけ医は、軽い病気や、生活習慣病でも状態が安定している場合の診察のほか、日ごろの健康管理などを、気軽に相談できるというメリットがあります。じっくり診察してくれ、変化があれば、専門医や総合病院の紹介もしてくれます。また、各医療機関とのネットワークを持っているので、紹介先での受診も安心です。



より良い医療のため  
近所の診療所・医院の「かかりつけ医」を

同推進事業では、かかりつけ医の定着に向けたさまざまな事業を実施しています。かかりつけ医とは、本人と家族の健康管理をする、ホームドクターです。近所の診療所や医院を、かかりつけ医と決めておく人が増えれば、大病院・専門病院への患者の極集中が避けられ、地域の各医療機関が、機能を十分に発揮することができるようになります。これにより、地域完結型医療の体制が確立され、私たちは、病気やけがの際に、症状に応じたより良い医療を、スムーズに受けることができるのです。



分担・連携で  
限られた医療資源を最大限に活用

※医療機能分化…「大きな病院→外来診療・紹介患者診療・専門医療・特殊検査・手術、地域の診療所や開業医→外来診療(往診)・相談・病気の予防対策指導など」と、医療機関が役割を分けた上で、お互いの連携を図ること

医師は、広い医療知識を持ち、また医師間で連携をとるので、かかりつけ医として決める医師は、内科に限らず、小児科や泌尿器科、整形外科など、診療科目は問いません。自分に合った信頼できる医師を探してください。  
○近所の人などに評判を聞く ○直接診療所を訪ねる：実際に行ってみて、窓口の対応など、雰囲気を確認する ○医師会に問い合わせる：お近くの診療所をご案内します。昨年9月に自治会を通じて配布した「海老名かかりつけ医ハンドブック2006年版」もご利用ください(ご希望の方は、医療センターで差し上げます)。



信頼できるかかりつけ医を探そう  
診療科目は問いません

### 現場は今… 地域内連携が急務

大病院に患者が集中することで、患者側は、数分で済む外来診療のために、長時間待たなければならないことがあります。また、診察や緊急手術への対応中のため、その病院の機器を使って診療できるはずの救急患者が、受け入れを拒否される事態も発生しています。

病院側も、多くの患者を診ようとするとうつろ話を聞けない、じっくり診察・治療すると時間がかかり、他の人の待ち時間を延ばしてしまうというジレンマに陥っています。

また、医療制度の抜本的な改革により、急性期の患者を診療する病院と、慢性期を診療する病院の役割が明確に分けられたものの、地域医療を担う多くの急性期の病院(市内では海老名総合病院・さがみ野中央病院)では、円滑な地域連携を確立できないまま、急性期・慢性期両方の診療に携わらなければならないのが現実です。

この事態の解決には、地域の医療機関が連携して医療を提供する体制の確立が必要です。

問 海老名市医師会 (医療センター内=さつき町41、☎234・3241、<http://ebinaishikai.jp/>)

第6回市民健康講座のお知らせ  
▽日時 7月7日(土)16時〜18時  
▽場所 医療センター ▽定員 先着60人  
▽内容 精神の健康と認知症「うつ」・「認知症」について  
▽講師 海老名メンタルクリニック院長・根岸了氏、相州ピナシテイメンタルクリニック院長・大山浩吉氏  
▽参加費 無料。  
問 海老名市医師会事務局(受付 平日の8時30分〜17時)